

海外安全対策情報（平成30年7～9月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は安定し、NSW州全体の犯罪発生率は昨年と比べると全ての罪種において減少している。薬物犯罪については、コカインの所持や使用による検挙者が、前年比+33.6%と大幅に増加している。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Blacktown：詐欺(+21.8%)

○Coffs Harbour - Grafton：窃盗（車上ねらい）(+32.2%）、
窃盗（店舗を対象）(+43.7%）、詐欺(+60.7%)

○Far West and Orana：暴行・傷害（DV関連）(+20.1%)

○Mid North Coast：強盗（凶器を使用せず）(+69.2%）、
窃盗（車上ねらい）(+24.2%）、詐欺(+40.9%)

○Riverina：強制わいせつ(+40.9%)

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定しているが、暴行・脅迫、性犯罪等人に対する犯罪は前年比+3.4%、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は+2.8%と微増している。

特に店舗に対する侵入・窃盗事案が増加している。

2 邦人被害

○ 2人組が観光客を装って被害者に近づき、1人が「写真を撮ってほしい」等と申し向けて気を引いている隙にもう1名が財布を盗むというすり事件が多発している。オペラハウスやダーリングハーバー等の観光エリアでは特に注意を要する。

○ 警察や国税庁を装ったメールや電話による振り込め詐欺が多発している。振り込みの指示があった場合、安易に振り込まず、必ず関係機関や関係者に確認する必要がある。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、オーストラリア国内におけるテロの脅威度は依然5段階中上から3番目の「Probable」であり、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

捕鯨・イルカ漁反対団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2017年10月から2018年9月までの1年間と前年同期との増減率）。